

なかい・とおる 岡山商科大助教
授など経て2002年から現職。同大社
会総合研究所長。専門は経営戦略論。

まえさか・まさよし 1960年、前身の
毎日新聞広告岡山取扱所社長に就任。20
00年から現職。岡山商工会議所副会頭。

もりや・かつとし 中国銀行取締役
広島支店長、本店営業部長など経て20
01年から現職。岡山商工会議所副会頭。



改革へ 鍵握る

いる。どこに行っても広場があり、
周辺に飲食街などの大人が楽しむ
場もある。住居ゾーン、工業ゾ
ーンといった区分けや、建物の高
さ制限など、街全体のプランが長
い時間をかけて守られている。

前坂 どんな小さな街にも必ず
「中心」がある。そこはみんなが
楽しめる場所であり、公共の交通
機関などを使って手軽に集まれ
る。あらためて中心地の大切さを
痛感した。

守屋 訪れた街は、どこも非常
に美しかった。色彩一つひとつも
じっくり考えながら街づくりをし
ていくことが大切だと思った。

前坂 人が集まり、にぎわいが
ないと、街は楽しくならない。人
を呼ぶためには居心地を良くする
必要があり、それには公共交通機
関が大きな鍵を握る。ヨーロッパ
では、中心市街地であるイベント
のチケットに、公共交通機関の切
符がセットで販売される例もある
そうだ。

守屋 ストラスブールの電車は
とても雰囲気良かった。だから
乗ってみたい気にさせられるし、
実際乗って楽しかった。

中島 日本でも、中心市街地は
人が歩いて集える感覚を、もっと
大切にすべきではないか。実現の
ためには、歩く側のマナー向上も
必要だ。

中井 フランス人はまちの魅力
や文化を守るためには、少々の不
便は我慢するのだと聞いた。日本
でも人々の意識の変化が、改革の
エネルギーになるだろう。

生活者の視点で都市づくり

中井 今回の視察の成果を、岡
山でどう生かせばいいだろう。

前坂 ヨーロッパは一つ一つの
街の自治意識がしっかりしてい
る。これは、これからの日本でも
問われることであり、周辺都市と
の連携も大切だ。街づくりの面
では、ヒトが見られることで洗練さ
れるといわれるように、ゆっくり

守屋 周囲を眺めながら歩ける街
いくことが、その街の美に
ついていくのではないかと。

守屋 街づくりのいろん
を市民で共有し、意識の向
るべきだ。他都市の例で参
る点があれば、まねをす
大事。どうすれば岡山の街
なるか、損得抜き意見の

人が集う街の



ヨーロッパ視察の印象について語り合う（左から）中井、前坂、守